

2006年2月号

ほくし

発行所

社団法人 大阪北区歯科医師会

大阪市北区南森町1丁目4番28号

プールパール南森町205号室

TEL(06)6363-0016 FAX(06)6363-0046

大阪北区歯科医師会は、平成18年1月10日(火)に大阪東急ホテル松風の間に、府歯・関係官公署・関係団体及び国・府・市議員等の来賓に御臨席戴き、「平成18年新年互礼会」を



午後7時より開催した。大塚専務理事の司会で、来賓の方々の入場を会員が会場内に拍手で中に迎え、着席後、中谷副会長の開会のことばで開始された。黒川会長が、新年の賀詞

平成18年 新年互礼会開催

大阪東急ホテル
『松風の間』

H18.1.10



と参会の謝辞を述べ、昨年の衆議院選挙での与党の大勝により、国民への医療費負担の増額が決定的となるなど歯科界・医療界の難局を憂い、その中で会的一致団結の証しとして「国民皆保険制度を守る」署名運動を挙げ、今後とも府歯との協力・北区六師会との協調の意向を示した。

続いて岡邦恭大阪府歯科医師会会長にご挨拶を戴いた。賀本庶務理事より来賓紹介の後、村田匠北区長・長谷豊北区保健福祉センター医務保健長・岡崎平太大阪北区医師会会長・小玉隆子大阪市長議員に御祝辞を戴き、荒起秀多北区薬剤師会会長の音頭により乾杯

を行い祝宴に移った。

出席者全員がテーブル席に着き、ゆったりと「なだ万」の正月風御馳走に杯を重ねた。出席者は席を自由に移動して懇親を更に深める雰囲気となった。途中、遅れて御臨席された中山泰秀衆議院議員に御祝辞を戴いた。定刻となり高麗副会長の閉会の言葉により盛会の中にお開きとなった。

尚、来賓各位は次の通りであった。(順不同 敬称略)
岡邦恭(府歯会長)、太田謙司(府歯専務理事)、神馬知明(府歯常務理事)、天羽隆(府歯理事)、加藤隆正(府歯連盟理事長)、水沼和夫(府歯連盟常務理事)、橋本收(国保組合専務理事)、中山泰秀(衆議院議員)、京極俊明(大阪府会議員)、田中ゆたか(大阪市会議員)、小玉隆子(大阪市長議員)、美延映夫(大阪市会議員)、村田匠(大阪市北区長)、長谷豊(北区保健福祉センター医務保健長)、津田省三(北消防副署長)、岡村平太(大阪北区医師会会長)、荒起秀多(北区北薬剤師会会長)、速見憲(大阪府歯科技工士会会長)、小田純司(大阪府歯科技工士会北支部長)、小高則子(大阪府歯科衛生士会会長)、大野公子(大阪府歯科衛生士会北支部長)

パノラマ

「ダイナマイトの導火線には既に火が付いている」国立感染症研究所の言葉である。ベトナムで3年前に3名の死亡例が確認されて以来、鳥インフルエンザの猛威は東南アジアや中国から今年に入り遠くトルコにまで及んでいる。現時点での確定患者数は二五二名、うち死者八三名となっている。以下

同研究所・岡田晴恵博士は著書で、今はまだ鳥から人への感染であるが、ウイルスが人から人への感染タイプに変異すると、パンデミックと呼ばれる世界的大流行に陥り約1週間地球全体に蔓延する、と述べている。

先頃日本政府が発表した対策計画によると、新型インフルエンザの罹患者は全人口の25%で約3200万人、致死率は2%で約64万人が死亡する想定になっている。社会機能はマヒし、輸出入も停滞する。食料自給率四〇%のわが国には「食糧危機」の言葉が重くのしかかる。また当該ウイルスを入手後ワクチン完成までには半年は必要とある。博士は鳥インフルエンザには無効だが、ウイルスの交雑を防ぐ為にもインフルエンザワクチンの接種を強く呼びかけている。(〇)

年頭所感

大阪北区歯科医師会

会長 黒川 森夫



明けましておめでとうございます。会員の皆様方にはご家族お揃いでお健やかによい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、平成十六年度第二回通常総会において、会員の皆様方の温かいご理解により五度会長に選出させていただきました。そして私のスローガンとして年度初めに次の五項目を改めて掲げさせていただきます。

一、執行部一丸となった会員の方々のための円滑な会務運営

二、明るく、活気ある歯科医師会の推進

三、会内融和

四、伝統の継承

五、対外との緊密な連携

以上の事柄を念頭に置き、新理事五名を含めた新執行部の方々と共に更なる意欲と情熱でもって会務に携わってまいりましたが、お陰

さまでこれまで諸事業大禍なく進めさせていただいておりますことを役員一同心から感謝しております。

執行部は、引き続き最近急増する未入会医療機関への積極的な対応、当会内での病診連携への組織作りに加えて、新たに、IT化推進委員会の答申を受けたホームページ作成のためのIT化実行委員会の発足、会計処理の明瞭化、簡素化を目的とする会計検討会の開催、当会独自の会員名簿作成の三つの事業に取り組みました。そして本年元旦に北区歯科医師会のホームページが立ち上がり、会員名簿も年内に配布することができ、また会計についても平成十八年度予算編成に向けての具体案が構築されるに至っております。

以上のように新執行部が心新たに一丸となって意欲的に会務運営に取り組んでおります。

昨年九月十一日、急遽衆議院総選挙が行われ、与党が歴史的勝利を収めました。が、そのことにより国の財政難の穴埋めとして医療制度構造改革の名のもとに医

療費抑制の流れに拍車がかかってきました。そして昨年暮れに政府は、平成十八年度診療報酬改定について医療費全体で3・16%引き下げを提示するに至りました。すなわち、政府は医療担当者の報酬を大幅に引き下げ、患者負担を更に増やすといういわば国民の健康を脅かし、ひいては国民皆保険制度崩壊につながる理不尽な方策を実行しようとしております。

そのような方策を断固阻止するために当会は、昨年十一月、十二月に国民皆保険制度を守る署名運動を展開してまいりましたが、会員各位の温かいご理解と絶大なご協力により昨年暮れまでに二万五千人余の署名を獲得することができ、心から感謝しております。ありがとうございます。

常々申しておりますように、このような厳冬の時代こそ当会伝統の「和を以って貴しと為す」の精神を旗印に、会員が一致団結し、協力し合い、助け合い、引き続き府歯科医師会のご指導を仰ぎながら、正しい時代認識のもとに行動すべきであると考えております。私共執行部は、更なる意欲と情熱でもって会務運営に当たると共に、北区区内で

の行政、医師会、薬剤師会、そしてデンタルスタッフである歯科技工士会、歯科衛生士会、更には関係団体ともこれまで以上に連携を密にして地域歯科医療発展のために全力を傾注する覚悟であります。

年頭所感



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様方とご家族にとりまして、本年が幸せの年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

昨年も中東地域での無差別テロ、国内でも殺伐とした事件が毎日のように報道されました。無辜の民の悲しみが消え去り、一日も早く平安な日々がとおとされることを願ってやみません。人々が日々の生活に汲々としている中で、苦しみや悲しみを一顧だにしない、畏怖するような強い力を背景とする政（まつりごと）

どうぞ本年も旧に倍するご指導ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。皆様にとって今年こそよい年になりますことを祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

大阪府歯科医師会

会長 岡 邦恭

が行われております。

昨年には、財政窮迫のためとして、年金生活者や障害者の負担増などがいとも容易く行われました。民間活力の導入を大義名分とした郵政民営化法案の否決後には、衆議院解散・総選挙が行われ、マスコミ総動員による巧みな選挙戦演出が奏功し、与党は地すべりの大勝を収めました。余勢を駆って戦後60年の懸案であつた憲法改正すら緒に就けられました。次には農業、教育が標的にされ、医療においては、金持ちを優遇する混合診療の解禁や医療への株式会社参入などを狙っております。

昨年の初めからは、平成十四年度末に閣議決定された「基本方針」に基づいて医療制度改革などに関する検討が行われ、「医療制度構造改革試案」として取りま

とめられましたが、社会保障の基本理念を捨て去り、医療費抑制に終始する空虚な内容でありました。政府・与党は、試案をもとに平成十八年10月からの70歳以上の高齢者3割負担、診療報酬のマイナスイメージなどを決定しました。平成十七年6月実施の医療経済実態調査速報値に現われたように、医療による減収を経費の節減でカバーし、窮状にある個人立歯科診療所の経営には、需給関係の悪化も相俟って、まさにダブルパンチとなりました。

国民が健康で日々社会経済活動に従事しなければ、国の活力は生まれません。国力の源泉は、国民の健康であるといっても過言ではありません。世界各国が、鳥インフルエンザの大流行に備えて、巨費を投じ懸命の防疫対策を行っているのは、蔓延による国力の衰退を懸念しているからであります。わが国においては、医療の第一線を担う医療機関の報酬を引き下げ、患者さんの受診時の負担を増やすなど、国民の健康を危険に曝し、国益を損なうような施策が行われております。医療は国民の健康を守るた

(3面下段につづく)

新年のご挨拶

北区長 村田 匠



新年あけましておめでとうございます。皆様にはすがすがしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、「みんなの健康まつり」や、各地域で実施しております「ふれあい喫茶」での歯科相談など、地域住民の健康保持に多大なご協力をいただいております。ことに、深く感謝申し上げます。

さて、区役所では、「保健福祉センター」として健康・医療・福祉部門の総合的なサービスを開始して間もなく三年になるうとしています。高齢化が進んでい

る現在、住民の皆さんの健康に対する関心は、年々高まってきております。

このような中、多様化する市民ニーズにお応えするためにも、市民一人ひとりが安心して心豊かに暮らせるよう、福祉・保健・医療サービスのさらなる充実に向け、これまで以上に努力してまいりますので、今後とも、皆様方の温かい理解とお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

大阪北区歯科医師会のみすますのご発展と、皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新春のお慶びを申し上げます。



12班 安田 清子
(大正11年4月10日生)

成年年男

大正 11年
昭和 9年
21年
33年



年月のたつのは早いもので、現在ひ孫が9人居ます。

私と同じ年男が2人居り、皆元気です。何事かあれば集まり個性のあるしぐさで精一杯の若さを出して私達を楽しませてくれます。難しい世の中ですが無事の成長を願っております。私も残る人生を健康で仕事に励んでゆきたいと思っておりますのでよろしく願いたします。

一昨年6月から皆様方のあたたかいお力添えと全面的なご協力を得て、開始致しました。夜間緊急歯科診療は、順調に推移いたしております。地域の方々の生活に安心を与え、ささやかではありますが、社会の安定と活力の増進に寄与しているものと自負いたしております。これからも一日も弛まず続けていくことによつて、地域社会の発展、歯科医療の価値観の向上をはかることができれば、歯科医療に携わるものとして無上の喜びであります。

誉生

9班 多田 義隆
(昭和21年1月11日生)



昭和45年に大学を卒業以来、36年間北区にお世話になり、太融寺町で開業29年となりました。

自分自身の一生を四季にたとえると誕生から成人までが春。そして40歳までが

(2面より続く)
めの長期投資であると考えるように、政府の猛省を求めるものであります。

このような厳しい状態ではあります。大阪府歯科医師会は今後とも地域の皆様方の健康を守り、国民皆保険制度を堅持するために、力強い提言と行動を続けてまいりる所存であります。

先輩諸氏が築き上げてきた大阪府歯科医師会80年の輝かしい歴史を受け継ぎ、夜間緊急歯科診療の充実と地域歯科医療発展のために、今後も全力を傾注してまいりることを固く誓い、年頭の所感とさせていただきます。

新年のご挨拶

北区保健福祉センター
医療保健長 長谷 豊



療行政、とりわけ歯科保健衛生事業の推進に格段のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

「健康は歯から」、これは一つの格言かと存じます。歯の健康はライフステー

ジに応じた健康づくりの一つの柱に取り上げられておりますが、以前に歯科の先生方と歯と身体の健康について、一緒に仕事をさせていただいたことがあります。奥歯の咬み合わせのテンプ

新年あけましておめでとうございます。皆様方には、ご家族お揃いで、お健やかに、輝かしい新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

旧年中は、保健福祉センター事業全般、特に保健医

夏。その後20年が秋。最後60代からがいよいよ締めくくりに冬。体や仕事はとくに冬の時代を迎えていますが、色んな世間のしがらみから解放された残りの人生「余生」を「養生」に変えるべく努力して、無事に次の世代へバトンタッチ。そして土に帰りたいと思います。その後は「倶楽部」で、懐かしい人たちと会える事が、又楽しみの一つです。

年男挨拶

2班 佐々木 裕
(昭和33年4月29日生)



48歳、年男ということになります。父と32歳離れておりますので、私が16歳の時の父のことを思い出してみました。あれ？あんまり鮮明な記憶が無いなあ。確かに髪が黒く、毛もフサフサ。でも外観以外に多くは思い出せません。当方は高校1年生、遊びたい、勉強はせなあかん、クラブもある、おしゃれしたい。どうも自分のことで一杯一杯です。

親父はせつせと働いて、夜は夜食提げて酔っぱらって帰ってくる。あ、ちよつと似てる。新しいことを始めるでもなく、ここ数年はだらだらした日々かな。父の記憶が曖昧なように、私の生活も変化が無いのです。変化は自分で起こさねば起こらないでしょう。

よい機会だと思いました。48歳の年男という節目に感謝。自らの変革の年！大げさやな。

年男挨拶

8班 大浦 寿哉
(昭和33年6月13日生)



新年明けましておめでとうございます。いままで、いい意味でも悪い意味でも「若手」という言葉に甘えながら、先輩の後をついてきました。特に周りには尊敬できる先輩方がたくさんおられ、何も考えずについていくだけでいい環境でした。最近になって、本業の歯科矯正臨床や歯科医師会活動でも、責

任ある役職が回ってくる年齢になりました。遅まきながら、ひとり立ちしていかなければならないと考えております。

会員の先生方にはご迷惑をおかけしないようにがんばる所存ですので、今後ともよろしくお願いいたします。

年男挨拶

15班 木下 秀人
(昭和33年6月24日生)



新年明けましておめでとうございます。

北区歯科医師会にお世話になり、はや14年が過ぎました。開業間もなく年男の原稿を「ほくし」に掲載して頂いたのがついこないだのような気がしております。正直当時は経営的にどうなるのかの不安でいっぱいでありました。現在は決して満足とはいえませんが、皆様方のお陰でなんとかやってきております。

次回の年男の原稿も明るい気持ちで書かせて頂けるようがんばっていききたいと

思っておりますので今後ともよろしくお願いいたします。

年男挨拶

9班 溝上 修平
(昭和33年7月19日生)



新年明けましておめでとうございます。会員の先生方におかれましては、恙無くお過ごしのこととお慶び申し上げます。

私は文才がないので、こういう物書きは本当に苦手なのですが、締め切りも迫り、重い筆を執っております。

私自身、人間的にも仕事能力的にも至らないことが多すぎて、日々うんざりするほどの自己嫌悪に溺れそうになっています。幸い戊歳ですのだからうじて犬掻きでも荒波を渡っていけたらと思っています。

皆様の益々のご発展を祈念申し上げます。



成年年男会員

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 15班・島田惣四郎
(大正11年12月3日) | 9班・西川久義
(昭和21年9月3日) |
| 15班・人見クスクマ
(昭和9年9月10日) | 13班・須田宜之
(昭和21年10月5日) |
| 5班・久保一幸
(昭和21年4月14日) | 16班・藤井教子
(昭和33年1月20日) |
| 2班・柳井淑子
(昭和21年5月14日) | 6班・山崎彰大
(昭和33年2月3日) |
- (敬称略)

平成17年11月30日(水)
午後7時より北区区民ホールにて学術部企画の講演会が畠山善行先生(大阪市中央区開業)を講師に迎え開催されました。54名の出席がありました。以下講演会の抄録を記します。

近年歯周治療は進歩を続け、再生療法の分野においてエマル上皮タバク(EMD)を初め、PDGF(血小板由来成長因子)、幹細胞移植など、ますます予知性を持った再生療法の手段が開発されつつあります。そのためこれまで治療が不可能

—学術部企画講演会—
インプラントと歯周再生療法の接点を探る

H17
11.30

と思われた深い骨欠損でも再生する可能性が出てきつつあります。その一方でインプラント治療も骨造成をすることで、ますます適応症も拡大しています。そこで、我々臨床家はどのような基準で、再生療法またはインプラント治療を選択すべきか、考えるときがきているのではないのでしょうか。このような観点から再生療法の可能性と限界、またはインプラントの可能性と限界について考察し、両者の接点を探ります。(学術部・宮崎哲)

医療保険だより

「ロキソニン(ロキソ)」

平成十七年十二月付けで、ロキソニン錠・細粒の「効能又は効果」の中に歯痛が追加されました。

これにより、歯髄炎や歯根膜炎等でもロキソニンが頓用にて投与可能となった。詳しくは、本剤の添付文書を参照してください。

編集後記

一月中の発行を目指しましたが、翌月にずれ込みました。